

案内

2019 年度愛知県看護協会 摂食・嚥下障害看護認定 看護師教育課程受講生募集

教育期間：2019 年 9 月～2020 年 3 月(7 か月)

募集人員：30 名

願書受付期間：4 月 8 日(月)～23 日(火)(当日消印有効)

試験科目：(1)筆記試験：専門基礎科目、専門科目、小論文／(2)面接試験／(3)事例報告：出願時の事例報告を採点

試験日：5 月 19 日(日)9:30～16:00

問い合わせ先：愛知県看護協会

〒466-0054 名古屋市昭和区円上町 26-18

TEL:052-871-0761

E-mail:aikan-enge@earth.ocn.ne.jp

URL:http://www.aichi-kangokyokai.or.jp/

入学試験情報



講義風景



案内

第 24 回 3 学会(日本胸部外科 学会・日本呼吸器学会・日本 麻酔科学会)合同呼吸療法 認定士認定講習会および 認定試験

【講習会】

日程：

A 班 8 月 24 日(土)・25 日(日)

B 班 8 月 26 日(月)・27 日(火)

C 班 8 月 28 日(水)・29 日(木)

D 班 8 月 30 日(金)・31 日(土)

会場：ベルサール新宿グランド(東京都新宿区)

講義内容：1. 血液ガスの解釈／2. 呼吸機能とその検査法／3. 呼吸不全の病態と管理／4. 呼吸リハビリテーション／5. 酸素療法／6. 人工呼吸器の基本構造と保守および医療ガス／7. 気道確保と人工呼吸／8. NPPV とその管理法／9. 開胸・開腹手術後の肺合併症／10. 小児の呼吸管理／11. 人工呼吸中のモニター／

12. 呼吸不全における全身管理

定員：合計 4500 名(定員に達し次第受付終了)

受講資格：1 と 2 とともに満たすこと

1. 以下 a)～e)の免許および実務経験年数(免許登録日以降申請書類提出日まで)を有する者：a)臨床工学技士(2 年以上)、b)看護師(2 年以上)、c)准看護師(3 年以上)、d)理学療法士(2 年以上)、e)作業療法士(2 年以上)

2. 上記対象者で、申請書類提出日から過去 5 年以内に認定委員会が認める学会や講習会などで 12.5 点以上の点を取得している者(受講証、または修了証の写しを申請書類に添付)

受講料：2 万円

【認定試験】

日時：11 月中旬～下旬の日曜日(7 月上旬に決定)

会場：東京都内(7 月上旬に決定)

受験資格：①第 24 回認定講習会受講者、②第 24 回認定講習会受講免除者(受講した年度を含めて 3 年間受験資格あり)

受験料：1 万円

定員：4500 名

受講・受験申し込み：実施要領(申請書類)をダウンロードのうえ、「特定記録郵便」にて申請

ダウンロード可能期間：3 月 1 日(金)10:00～29 日(金)17:00

受付期間：4 月 15 日(月)8:00～22 日(月)17:00

【講習会受講免除希望者】(第 22～23 回認定講習会受講者)

申請書類のダウンロード可能期間：5 月 8 日(水)10:00～6 月 7 日(金)17:00

受付期間：5 月 8 日(水)～6 月 28 日(金)当日消印有効

※詳細は下記ホームページより

問い合わせ先：医療機器センター内事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-28-34 本郷 MK ビル 2F

TEL:03-3813-8595(平日 10:00～12:00, 13:00～17:00)

FAX:03-3813-8733

URL:http://www.jaame.or.jp/

案内

日本精神保健看護学会 第 29 回学術集会・総会

日時：6 月 8 日(土)～9 日(日)

会場：愛知県産業労働センター「ウインクあいち」(名古屋市市中村区)

テーマ：当事者・家族・支援者を結ぶ精神保健看護の理論と実践—私たちは声をきけているか？

プログラム：会長講演「家族ケアの実践とエビデンス」香月富士日(名古屋市立大学看護学部教授)／特別講演「精神疾患をもつ人を支える包括的ケア」大島巖(日本社会事業大学教授、地域精神保健福祉機構 COMHBO 代表理事)／教育講演①「WRAP の日本への導入と普及—ピアの力を信じて」坂本明子(久留米大学文学部准教授)／②「オープンダイアローグの臨床現場での活用」下平美智代(NPO 法人リカバリーサポートセンター ACTIPS)／③「身体疾患をもつ方の不安抑うつのかたと精神疾患をもつ方ががんになったときのケア」明智龍男(名古屋市立大学大学院医学研究科教授)／シンポジウム「リカバリーを目指す支援—家族ケアの重要性(仮)」木村尚美(ひだクリニック看護師)、家族、瀧野真広(愛知県精神医療センター医師)、加藤明美(愛知県心身障害者コロニー中央病院家族看護 CNS)／市民公開講座「マインドフルネスと臨床瞑想法」大下大圓(飛騨千光寺住職／日本スピリチュアルケア学会理事)／イブニングセミナー映画上映「夜明け前—呉秀三と無名の精神障害者の 100 年」／リカバリートーク「自分らしく人生を歩む人々の声を聴く」

事前登録締切(受付および入金)：5 月 10 日(金)正午まで

参加費：(事前登録)会員 8000 円、非会員 1 万円、(当日受付)会員 1 万円、非会員 1 万 2000 円、(当日受付)会員 1 万円、非会員 1 万 2000 円、(当日受付のみ)学生(院生除く)3000 円、当事者・家族 1000 円

登録方法：下記学会ホームページの登録フォームより

問い合わせ先：ユピア内 問い合わせ窓口
〒456-0005 名古屋市熱田区池内町 3-21

FAX:052-882-9612

E-mail:japmhn29@yupia.net

URL:http://japmhn29.yupia.net/index.html

案内

ストーマリハビリテーション 講習会 第16回リーダーシップコース

日時：7月24日(水)～27日(土)の4日間

会場：東京慈恵会医科大学附属第三病院
(東京都柏江市)

内容：学習と技能評価／上皮・排泄／ストーマ関連用品／人間／リハビリテーション／ケア／社会／性学／医療連携など、グループワークを中心とした講義
受講資格：

- (1) 医師
- (2) 看護師で下記講習会のいずれかを修了している者
・ストーマリハビリテーション講習会基礎コース、同上級コース、同実践コース、同理論コース、リーダーシップコース
・各地域のストーマリハビリテーション講習会基礎コース(北海道、東北、福島、北関東、埼玉、群馬、栃木、東関東、東京、神奈川、東海、岐阜、北越、甲信、北信越、関西、中四国、中国、四国、九州)

(3) ETおよび皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を有する者

定員：約70名

受講料：4万円

申込方法：

1) 下記①～④の事項を明記した申込書(A4、ワープロ使用)

①氏名(ふりがな)、②所属施設名および所属部署、その郵便番号、住所、電話・FAX番号(申し込み後の施設変更は不採用)、③ストーマケアの経験年数、④受講した講習会名とその年度(ETの場合はスクール名と修了年度※、皮膚・排泄ケア認定看護師の場合は終了年度※、医師は泌尿器科、外科系の別と経験年数を記載)

2) 修了証書のコピー(※それぞれ修了証書のコピーをA4に縮小し同封のこと)

3) 所属長の署名捺印がある推薦状(特別な書式なし)

4) 返信用葉書(所属施設住所記載のもの)
なお、必要書類の不備は選考の対象外。
また、1施設1名の応募に限る

応募期間：4月1日(月)～5月9日(木)までの到着分

宛先：〒243-0121 神奈川県厚木市七

沢516 神奈川リハビリテーション病院
外科

ストーマリハビリテーション講習会実行
委員会事務局 三浦英一郎

問い合わせ先：

1) 神奈川リハビリテーション病院外科
三浦英一郎、または皮膚・排泄ケア認定
看護師 長堀エミ

TEL:046-249-2503

FAX:046-249-2502

2) 町田市市民病院 池内健二

E-mail:srjimukyoku@me.com

URL:http://www2.convention.co.jp/sr-seminar/

案内

臨床実践の現象学会 第5回大会

日時：8月10日(土)

会場：東北医科薬科大学(仙台市青葉区)

テーマ：死生の語りの現象学

特別企画：大RTD(ラウンドテーブル
ディスカッション)「死生の語り」田代志
門(国立がん研究センター)、金菱清(東
北学院大学)、福島裕子(岩手県立大学)
／一般演題

事前参加登録：5月7日(火)～7月31
日(水)

※詳細は下記ホームページ参照

参加費：事前登録1500円、当日参加
2000円

問い合わせ先：(担当)西尾美里

E-mail:clinical.phenomenology@gmail.
com

URL:http://clinical-phenomenology.
com/meeting/

案内

日本地域看護学会 第22回学術集会

日時：8月17日(土)～18日(日)

会場：パシフィコ横浜・会議センター5
階(横浜市西区)

テーマ：おたがいさまを基軸にした健康
なまちづくりーコミュニティ・エンパワ
メントにおける看護職の役割

プログラム：キックオフセミナー(16日
開催)「あなたもできる!質の高い保健師
活動」吉岡京子(国立保健医療科学院生涯
健康研究部公衆衛生看護研究領域主任研

究官)、笠真由美(杉並区保健福祉部子ど
も家庭支援担当課長)

[1日目]

学術集会長講演「地域組織活動からなる
コミュニティ・エンパワメントー保健師
活動の視座から(仮)」金子仁子(慶應義塾
大学看護医療学部・健康マネジメント研
究科教授)／特別講演「地域のサステイナ
ビリティとコミュニティ政策」小島聡(法
政大学人間環境学部教授)／教育講演Ⅰ
「医療制度改革と地域包括ケア」二本立
(日本福祉大学相談役)／シンポジウムⅠ
コミュニティ・エンパワメントの具現化
方策「子育て世代も含めた多世代型互助
システムの構築」鈴木宣子(川崎市多摩区
役所地域まもり支援センター地域支援
担当課長)、「住民と行政とが協働して行
うコミュニティ・ミーティングからの活
動」佐藤君子(新潟県長岡市栃尾支所)、
「住民と創る地域包括ケア」永田祐(同志
社大学社会学部社会福祉学科教授)、「保
健師によるコミュニティ・エンパワメン
トの方法ー事例調査の結果をふまえて」
中山貴美子(神戸大学大学院保健学研究
科パブリックヘルス領域地域保健学分野
准教授)／指定集会1「医療ケアの必要な
子どもの生活支援」木村やよい(衆議院議
員)、気切っ子の会小さな羽(保護者代
表)、遠藤幸子(埼玉県立越谷特別支援学
校)

[2日目]

シンポジウムⅡ 地域包括ケアにおける
ITの活用「本人・家族の想いを支援する
ためのITを活用した多職種連携ー訪問
看護師の目線から」本間幸井(在宅サービ
スセンター所長)、「被災後の人々の健康
と生活を支援する『情報』と『技術』ー東日
本大震災から西日本水害まで」宮川祥子
(慶應義塾大学看護医療学部准教授)、「過
疎地におけるITを活用した地域包括ケ
アの取り組みの効果と課題」能勢佳子(鹿
児島県肝付町役場福祉課介護保険係参
事)、「ケアプランAI」川添高志(ケアプ
ロ代表取締役)／教育講演Ⅱ「グローバル
社会における地域看護活動ー日本に暮ら
す外国人の方々への健康支援」小林米幸
(小林国際クリニック院長)／指定集会2
「子育てにやさしいまちづくり」有沢貴美
栄(横須賀市こども育成部こども健康課
すこやか親子係係長)、鈴木佳奈(福島県
会津坂下町福祉健康班健康増進係)／指
定集会3「産業保健における看護職の役

割」荒木田美香子(国際医療福祉大学小田原保健医療学部副学部長), 渡辺哲(神奈川県産業保健総合支援センター所長), 猿山淳子(北地域産業保健センター)／指定集会4「がんと共に生きる人にやさしい社会づくり」大江浩(富山県新川厚生センター所長), 石井麗子(プラスケア暮らしの保健室), 瀬戸亜矢子(サノフィ健康保険組合健康推進センター)／市民公開シンポジウム「お互い様の心を伝える親育ち支援」田中哲(東京都立小児総合医療センター副院長), 原田正文(大阪人間科学大学副学長, 資格認定機構日本BPプログラムセンター代表)／一般演題(示説), ワークショップほか

参加費:(事前登録)会員 1万1000円, 非会員 1万2000円, (当日登録)会員 1万2000円, 非会員 1万3000円, 学生(大学院生を除く)3000円(当日のみ), 1日のみ参加(事前・当日とも同一料金)会員 6000円, 非会員 7000円

事前参加登録締切:6月28日(金)

演題・ワークショップ申込締切:3月1日(金)

問い合わせ先:ユピア内 運営事務局

FAX:050-3737-7331

E-mail:jachn22@yupia.net

URL:http://jachn22.yupia.net/program.html

案内

第33回日本看護歴史学会 学術集会

日時:8月31日(土)～9月1日(日)

会場:日本赤十字看護大学(東京都渋谷区)

テーマ:高度実践時代に向けて看護と専門職のこれからを考える

プログラム:会長講演「歴史に見る看護の専門職化のプロセス—高度実践と役割拡大に焦点をあてて」川原由佳里(日本赤十字看護大学)／教育講演「日本の高度実践看護の始まり, 今, そしてこれから」岡谷恵子(日本看護系大学協議会)／招聘講演「The Evolution and Future of Advanced Practice(仮)」Julie A. Fairman, PhD, RN, FAAN, University of Pennsylvania, 通訳:遠藤花子(日本赤十字看護大学)／シンポジウム「高度実践時代に向けて看護と専門職のこれからを考える」塚本容子(北海道医療大学), 峯

川浩子(常葉大学), 宇佐美しおり(熊本大学)

参加費:(事前参加登録)会員 7000円, 非会員 8000円, (当日受付)会員 8000円, 非会員 9000円, 学生(院生を除く)500円, 懇親会 4000円

※振込確認をもって参加登録完了。詳細は学術集会ウェブサイト(<https://www.33jsnh.com/>)から

事前登録締切:6月28日(金)

【演題(口演・示説)募集】

一般演題名登録期間:4月30日(火)まで

一般演題抄録提出期間:5月10日(金)まで

※口演は発表時間20分, 質疑応答10分, 示説は発表時間15分, 質疑応答5分

※卒後3年以内に限り, 在学中に取り組んだ卒業研究を発表できる。卒業研究発表は発表時間10分, 質疑応答5分

【応募資格】

1)共同研究者も含めて本学会の会員であること

2)入会は登録締切日(5月10日)までに申し込みを済ませる(2018年度中に会員である必要はない)

※入会申込は日本看護歴史学会のウェブサイト(<http://plaza.umin.ac.jp/~jahsn/invitation>)より

【登録手順】

1)第33回学術集会ウェブサイトの入力フォーム(<https://ws.formzu.net/dist/S29532577/>)より

2)申込み完了後, 受付確認メールが自動送信される

3)抄録原稿用テンプレートをダウンロードして抄録を作成し, 33rdjsnh@redcross.ac.jp宛に, 件名「【抄録提出】名前」として, 5月10日までにメール添付で提出

〈抄録用原稿作成について〉

①抄録原稿用テンプレートをダウンロードし, 〈演題抄録原稿の書き方〉の通りに作成する

②A4版2ページで作成

③規定に沿わない原稿の場合は再提出を依頼することがある

【共通】

問い合わせ先:日本赤十字看護大学内第33回学術集会 事務局

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3

E-mail:33rdjsnh@redcross.ac.jp

URL:<https://www.33jsnh.com/>